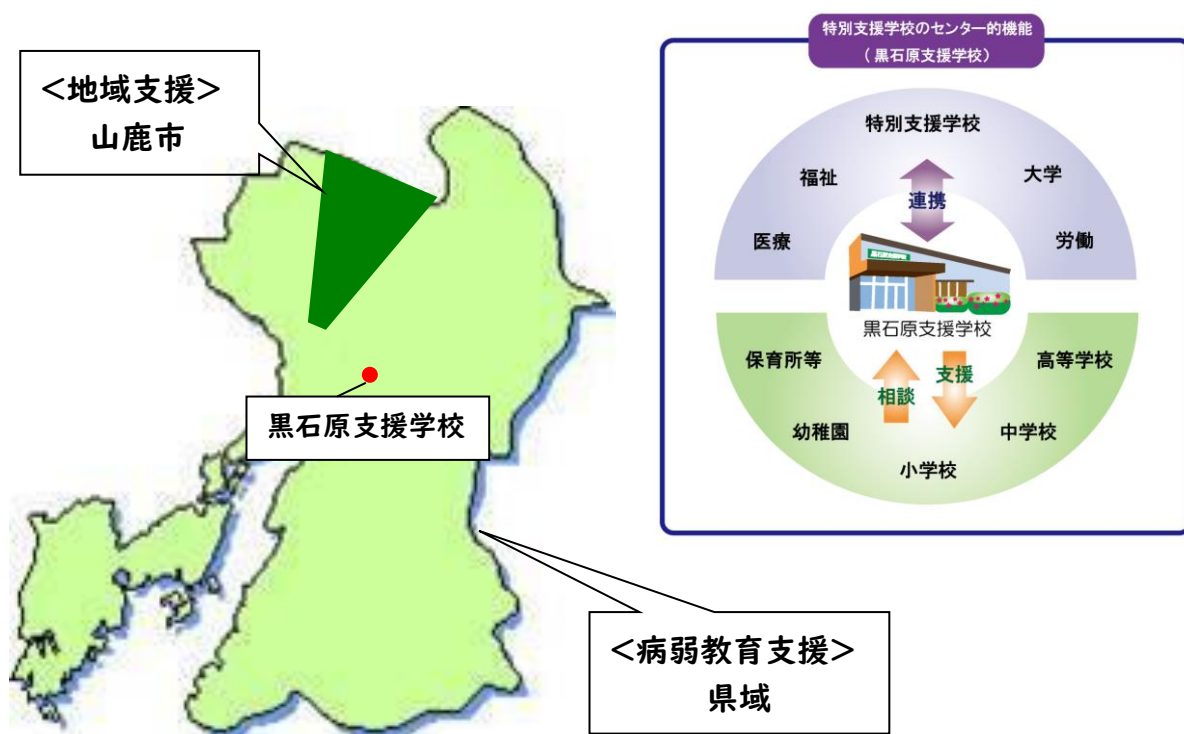


平成24年、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築が提唱されました。そのため、特別支援教育は、「合理的配慮」を提供できる体制を構築することや、障がいのある幼児児童生徒と障がいのない幼児児童生徒が相互理解を深め、共に尊重し合いながら協働していく態度を養う等の方向で取り組んでいくことになりました。そのような中、特別支援教育のセンターとしての特別支援学校の役割が強く求められるようになり、各地の特別支援学校で地域支援のための体制作りが進められました。

令和3年度 黒石原支援学校のセンター的機能について



黒石原支援学校は病弱支援学校として、県内の病弱虚弱教育についての相談や支援を行っています。また、山鹿市を対象として幼・保、小・中学校、高等学校等を対象に特別支援教育に関する相談や支援を行っています。